

【添付】

◇◇◇ 一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会のあゆみ ◇◇◇

手をつなぐ育成会とは・・・

全国においては、1952年(昭和27年)3人のお母さんたちが社会的差別を受けていた「知的な障害」のあるわが子のしあわせを願い、医療・療育・教育・福祉・就労等々の施策の整備、充実を求めて、仲間の親たちで手をつなぎ、関係者・市民の皆さんに呼びかけて「手をつなぐ親の会」(現・手をつなぐ育成会)を発足しました。

その呼びかけに応じて、奈良県においても障害児学級の先生とお母さんが立ち上がり、1963年(昭和38年)に「奈良県手をつなぐ親の会」(現・育成会)が結成されました。奈良県では28市町村に支部があります。全国では56団体(47都道府県育成会と8政令指定都市育成会、全国手をつなぐ事業所協議会)で構成され、その連合体が「一般社団法人全国つなぐ育成会連合会」です。

「知的な障害」のある「本人」たちが、社会の一員として、親なき後も支援を受けながら「自立」し「地域で安心して豊かに暮らす」ための地域づくりを目指し、啓発活動を展開しています。

29市町村に於いて啓発活動を展開しています。

◎沿革 奈良県手をつなぐ育成会のあゆみ

- | | |
|---------------|--|
| 1963年 (昭和38年) | 「奈良県手をつなぐ親の会」結成 |
| 1964年 (昭和39年) | 「奈良県手をつなぐ親の会」設立総会 |
| 1966年 (昭和41年) | 第3回総会に於いて養護学校設立について決議 各関係方面に請願書提出 |
| 1969年 (昭和44年) | 啓発活動の一環として「愛のひとしづく運動」後の「この子らを世の光に」運動
鉛筆販売開始 |
| 1971年 (昭和46年) | 西の京養護学校開校
第1回奈良県福祉振興大会(研究大会)(於、橿原市立畝傍南小学校) |
| 1972年 (昭和47年) | 第2回奈良県福祉振興大会(研究大会)(於、三郷町)(以後各地で毎年開催) |
| 1973年 (昭和48年) | 全県に運賃割引署名運動展開・運輸大臣に陳情
療育手帳交付
県知事・県議会・教育委員会に対し南部養護学校早期開校の請願 |
| 1974年 (昭和49年) | 県立養護学校設立運動署名陳情 |
| 1975年 (昭和50年) | 県立大淀養護学校開校 |
| 1976年 (昭和51年) | 県立高等養護学校開校
第15回近畿精神薄弱者福祉大会が本県橿原市にて開催 |
| 1977年 (昭和52年) | 精神薄弱者担当職業相談員制度発足と同時に1名配置(高田公共職業安定所)
福祉作業所建設資金カンパ運動を全県に実施 |
| 1978年 (昭和53年) | 県内初の福祉作業所が五條市に誕生 |
| 1979年 (昭和54年) | 養護学校義務制発足
第1回青年教室開催(本人の余暇活動) 以後年10回開催 |
| 1980年 (昭和55年) | 第1回新成人のつどい開催 以後毎年開催 |
| 1981年 (昭和56年) | 国際障害者年スタート |
| 1982年 (昭和57年) | 第1回奈良県知的障害者・児体育大会開催 |
| 1987年 (昭和62年) | 二階堂養護学校開校
奈良県手をつなぐ育成会在宅障害者自立訓練事業所開所 |
| 1988年 (昭和63年) | 「社団法人奈良県精神薄弱者育成会」設立 |